

Stitching Resistance Narratives of Daily Life in Chilean Arpilleras

特別展示

入館無料

抵抗を縫う --- チリのキルトにおける触覚の物語

日時：2010年10月12日(火)～16日(土)

会場：大阪大学総合学術博物館 (大阪大学豊中キャンパス内／地図は裏面)

本展覧会は、南米チリのアルピジェラ arpillera 運動を紹介するものです。アルピジェラ(キルトの一種)は、語りや文章とは異なる手法で歴史経験・政治経験を証言していく、芸術作品であり社会運動です。本展は、日本では触れる機会の少ないこの運動に焦点をあて、1970年代～1980年代に作られた作品を中心に、約40点を展示します。

主催：大阪大学グローバルCOEプログラム「コンフリクトの人文学」

共催：大阪大学総合学術博物館 協力：大阪大学21世紀懷徳堂

Photo by Colin Peck © Roberta Bacic



アルピジェラって？

南米で作られているアップリケのタペストリー。もとはチリ沿岸部イスラ・ネグラ地域の伝統手芸です。1973年以降のピノチェトによる軍事独裁下、貧しい女性たちがこのアルピジェラを用いて自分たちの日常生活を表現し、人権侵害に抵抗するネットワークを形づくっていきました。



ゲスト・キュレーター

ロベルタ・バシック (Roberta Bacic)

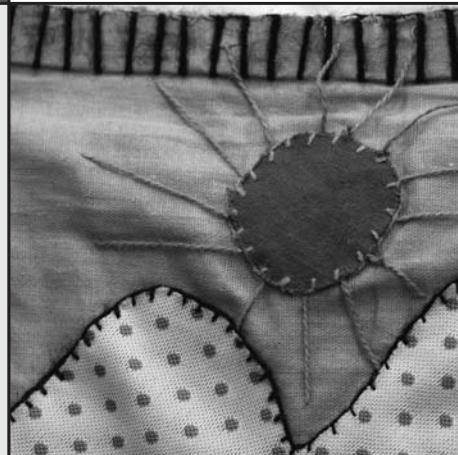
研究者、人権活動家。チリ出身。ケンブリッジ大学、ロンドン帝国戦争博物館、ニューヨーク国連プラザ、ベルリン・チリ大使館など世界各地で多数のアルピジェラ展覧会を開催。北アイルランド在住。

← Photo by Martin Melaugh © Roberta Bacic
↓ Photo by Colin Peck © Roberta Bacic

抵抗を縫う --- チリのキルトにおける触覚の物語 によせて

ロベルタ・バシック

「アルピジェラのなかで踊っているのは、かわいらしい素朴な人形たちです。けれども立ちどまって見てみると、その人形たちが、行方不明の愛する家族のゆくえを探し求める人びとであったり、家庭内暴力の被害者であったり、あるいは食料や寝る場所を求める貧しい人びとであることがわかるでしょう。縫いあわされたぼろきれや端切れのひとつひとつが歴史と物語を背負っています。と同時にアルピジェラは、あらゆる場所で生かされている幸福と不安、希望と悲嘆、そして勇気の表現でもあるのです。」



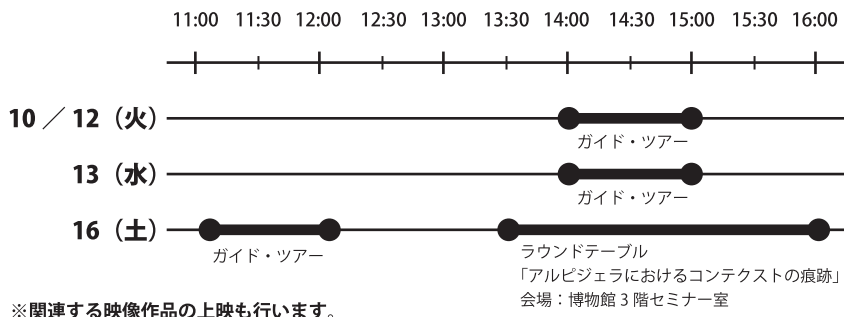
期間中にイベントを開催します。お気軽にご参加ください。すべて無料、事前申込不要です。

■ガイド・ツアー (英語、日本語通訳付)

ゲスト・キュレーターが展示中の作品の背景について解説します。

■ラウンドテーブル「アルピジェラにおける

コンテクストの痕跡」 会場：博物館 3 階セミナー室／講師：ロベルタ・バシック氏 (ゲスト・キュレーター、英語、日本語通訳付)／コメンテーター：太田昌国氏 (現代企画室編集者)、北原恵氏 (大阪大学)



■展示についてのお問い合わせは Email: saktomo10@gmail.com TEL.06-6879-4046

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-2 大阪大学大学院人間科学研究科内 グローバル COE 事務局

大阪大学 コンフリクトの人文学

検索

<http://gcoe.hus.osaka-u.ac.jp>



大阪大学
21世紀
懐徳堂

■会場についてのお問い合わせは

大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

大阪府豊中市待兼山町 1-20 大阪大学豊中キャンパス

TEL.06-6850-6284

<http://www.museum.osaka-u.ac.jp>

■開館時間／午前 10:30～午後 5:00 (入館は 4:30 迄)

■休館日／日・祝・年末年始

■入場料／無料

■阪急宝塚線「石橋駅」下車、徒歩約 10 分

